



## 環境ビジネス海外展開セミナー

# サウジアラビアで進む国家改革と 環境関連ビジネス機会



## 中東協力センター (JCCME)

審議役 三東尚志

(前JCCMEサウジアラビア総代表/JETROリヤド事務所長)

2019年9月

# 本日のアジェンダ

- サウジアラビアとは、また同国と日本との関係
- サウジアラビアが直面する課題
- 「サウジ・ビジョン2030」と急速な変革
- 日本とのパートナーシップ「日サウジビジョン」
- サウジの環境問題への日本のソリューション
- 中東協力センターのご支援

# 本日のアジェンダ

- サウジアラビアとは、また同国と日本との関係
- サウジアラビアが直面する課題
- 「サウジ・ビジョン2030」と急速な変革
- 日本とのパートナーシップ「日サウジビジョン」
- サウジの環境問題への日本のソリューション
- 中東協力センターのご支援

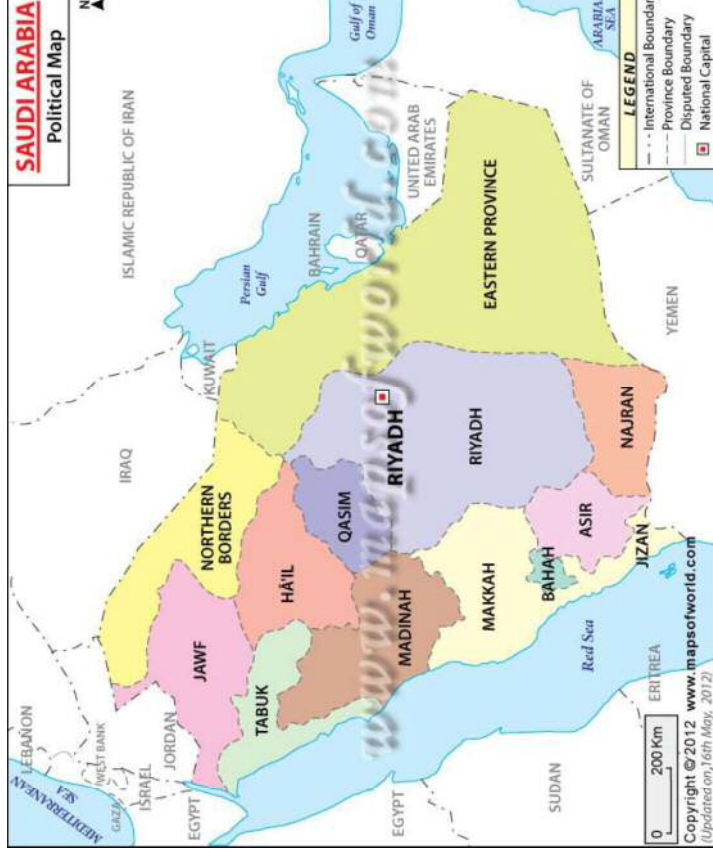
# サウジアラビア王国 基本データ



国名・政体	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 1932年9月23日建国「アル・ムムラカ・ル・アラビヤツ・スウデイヤ＝サウード家によるアラビアの王国」</li> <li>▶ 絶対王政・政教一致（ワハービズム） 首都リヤド</li> </ul>
元首	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国王：サルマン・ビン・アブドルアジーズ・アル・サウード陛下（第7代国王兼首相、「二大聖地の守護者」）</li> <li>▶ 皇太子：ムハンマド・ビン・サルマン・ビン・アブドルアジーズ・アル・サウード殿下（副首相兼国防相）</li> </ul>
国土	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 215万km<sup>2</sup>（日本の約5.7倍。リヤド州、メッカ州など13州）</li> <li>▶ 北はヨルダン・イラク、東はクウェート・カタール・UAE、南はオマーン・イエメンと国境を接し、東はアラビア湾・西は紅海</li> <li>▶ イスラムの2大聖地マッカ・マディーナを擁する</li> </ul>
人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 3,341万人（うちサウジ人2,041万人） *2018年 GASTAT</li> <li>▶ リヤド・ジエツダ・ダンマンの3大都市圏に約7割が集中</li> <li>▶ 7割以上が30代以下。人口増加率は2.03% *17年 WB</li> </ul>
GDP	▶ 7,699億米ドル（1人当り23,190米ドル） *18年 IMF
失業率	▶ 12.9%（男性7.9%・女性30.9%） *18年Q1 GASTAT
日系企業	▶ 103社（18年3月）、在留邦人1,117人（18年9月）
対日貿易	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 輸出 3兆7327億円（原油・石油製品等） 日本は原油4割を依存</li> <li>▶ 輸入 4,541億円（機械類・輸送機器等） *ともに18年 財務省貿易統計</li> </ul>

# サウジアラビアの概観

- 「レンテニア」国家（歳入の8割/GDPの4割が、石油・石化収入）
- 歴史的に属国・植民地にならず「二大聖地」を擁しているプライド
- 湾岸産油国で図抜けた大国 ⇒人口動態の冷徹な現実・レンテニアの経済的限界と、「脱石油」「近代化」「国家資産の活用」の必要性を強く意識（後述）
- 「ワハーブ的価値観」が「近代化」の桎梏に
- 政治・経済・社会文化・富裕層の子弟教育は米国寄り



# 日本にとってのサウジアラビア

- 石油輸入の9割近くをサウジアラビア始め湾岸国に依存(3.11以降特に)
  - サウジアラビアとは60年(以上)の友好的な国交(歴史的・宗教的摩擦なし)
  - 湾岸国の中で突出した大国(サウジン2千万人超)で課題が多い
- ＝人口増加に伴うエネルギー多消費(電力・水)、大気・下水・ゴミなど環境対策、物流効率化、公共事業の民営化など、日本のソリューションへの期待が高い(後述)

輸入元	2019年6月			2019年5月			2018年6月		
	輸入量 (kl)	比率 (%)	前月比 (%)	前年同月 (%)	輸入量 (kl)	比率 (%)	輸入量 (kl)	比率 (%)	
総計	13,249,598	100.0	88.3	116.0	14,999,708	100.0	11,425,686	100.0	
<b>中東計</b>	<b>11,532,766</b>	<b>87.0</b>	<b>88.1</b>	<b>114.7</b>	<b>13,085,300</b>	<b>87.2</b>	<b>10,056,737</b>	<b>88.0</b>	
イラン	-	-	-	-	-	-	707,391	6.2	
イラク	-	-	-	-	-	-	332,074	2.9	
バーレーン	-	-	-	-	293,633	2.0	303,678	2.7	
<b>サウジアラビア</b>	<b>4,432,099</b>	<b>33.5</b>	<b>91.2</b>	<b>101.4</b>	<b>4,859,357</b>	<b>32.4</b>	<b>4,371,805</b>	<b>38.3</b>	
クウェート	1,029,147	7.8	83.7	122.9	1,228,967	8.2	837,445	7.3	
カタール	1,152,197	8.7	92.6	178.6	1,243,606	8.3	645,282	5.6	
オマーン	324,304	2.4	80.9	133.7	400,941	2.7	242,533	2.1	
<b>UAE(アブダビ)</b>	<b>4,595,019</b>	<b>34.7</b>	<b>90.8</b>	<b>175.6</b>	<b>5,058,796</b>	<b>33.7</b>	<b>2,616,529</b>	<b>22.9</b>	

資源エネルギー庁 石油統計速報より

# 中東の対日世論は良好

平成30年度・令和元年度  
中東(5か国)における  
対日世論調査結果

調査対象国：エジプト、ヨルダン、サウジアラビア(KSA)、チニジア、アラブ首長国連邦(UAE)  
調査対象者：18歳～69歳の男女3,022名  
調査方法：電話調査  
調査期間：2019年2～5月 調査機関：Ipsos

※回答の比率は四捨五入のため合計が100%にならない場合があります。

2019年8月29日

## I. 対日関係

Q. あなたの国と日本は現在どのような関係にあると思うか。



## II. 信頼関係

Q. あなたの国の友好邦として、今日の日本は信頼できると思うか。



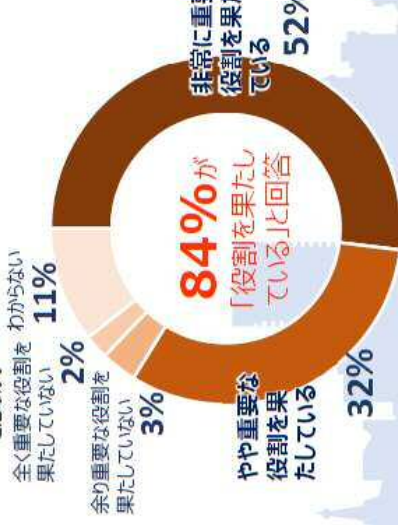
## III. 平和国家としての日本の歩み

Q. 戦後70年の日本の平和国家としての歩みについてどう思うか。



## IV. 日本の役割と貢献

Q. 日本は世界経済の安定と発展の役割を果たしていると思うか。



Q. 日本が地域及び国際社会の平和と安定に積極的に貢献していくのは世界の平和維持や国際秩序の安定に役立つと思うか。



Q. 日本の経済・技術協力は中東地域の発展にとって有益だと思うか。



# 本日のアジェンダ

- サウジアラビアとは、また同国と日本との関係
- サウジアラビアが直面する課題
- 「サウジ・ビジョン2030」と急速な変革
- 日本とのパートナーシップ「日サウジビジョン」
- サウジの環境問題への日本のソリューション
- 中東協力センターのご支援



# 今そこにある課題：エネルギー問題

## 最大級産油国の逆説的「エネルギー三重苦」

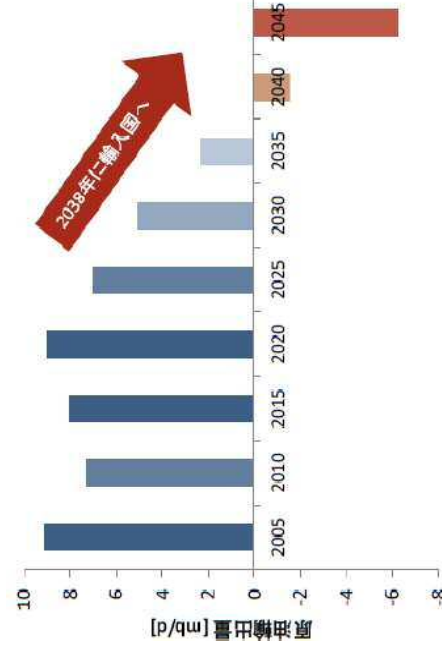
- 湾岸産油国で図抜けた大国の人口動態⇒エネルギー多消費（電力・水）  
人口3300万（急増中：下図）を支えるための「電力も石油（ガス）、水も石油（ガス）」
    - ①水・電力インフラの増強は「待ったなし」＝財源確保、省エネ化が喫緊  
電力55GW⇒22年に90GW、30年に150GWの要。大規模停電は死活問題  
水需要8百万m<sup>3</sup>/日⇒20年に12百万m<sup>3</sup>/日（海水淡水化能力520万m<sup>3</sup>/日（65%）⇒25年に850万m<sup>3</sup>/日）
    - ②国庫補助金も莫大：電力・水・燃料の逆ザヤ（いわゆるバラまき福祉）1200億ドル超／年⇒半減目標
    - ③石油の自国消費が急増、3百万bpd（3割）突破、輸出余力の減少＝歳入縮減
- 2030年代に輸出ゼロ予測も（下図）⇒OPEC脱退、レンジア国家・王制存亡の危機。

サウジの2050年までの人口及びGDP見通し

年	人口 [万人]	一人当たりGDP [USD]
2010	2,756	19,799
2020	3,437	20,836
2030	3,913	21,952
2040	4,314	26,486
2050	4,606	32,203

図表出典：いずれも三菱総研レポート「平成27年度国際エネルギー使用合理化等対策事業」より

2038年には輸出ゼロの予測も



# 今そこにある課題：エネルギー問題

## ソリューション＝石油・ガス資源の延命

### ➤石油・ガス消費の増加抑制・縮減

新エネルギー推進、省エネ徹底で、火力発電の石油・ガス消費を抑制

(1) サプライサイド：発電・造水主体、新エネルギー・省エネ推進主体

① 省エネ：SEC・SWCC等、発電・造水で(コンバインドサイクル、熱回収、省エネ海水淡水化)

② 再生エネルギー：KACARE・REPDO(太陽光・風力等のメガ発電)、GAMEP(ゴミ発電)導入機運

③ 究極の脱石油は、原発導入か

①は日本の技術・ソリューションに商機。②太陽光については、「ビジョンファンド」が盛上げ

(2) デマンドサイド：省エネ具体策の実施

① 省エネ：SEEP(製鉄や大規模商業施設など電力多消費産業の省エネ、すべての建築物の断熱規制、エアコン・自動車の効率規制導入)

② 電気・水・燃料の公共料金「大幅」上げ⇒補助金削減とともに、官民、国民の「節約」意識啓蒙

### ➤再生エネルギー・省エネ、環境ソリューションに急速な動意

- 発電・造水当局(SEC・SWCC、アラムコ等) 供給サイドの省エネ
- MEP・SEEP・GAMEP・MODON・地方自治体：需要サイドの省エネ(家電・建物・産業・自動車が軸)および環境・静脈系、ゴミ発電等に急速に関心の高まり
- 地方自治体の都市再開発、渋滞緩和や行政サービス向上等に、日本の技術への関心も
- いずれも、日本の技術・ソリューションに商機

# 本日のアジェンダ

- サウジアラビアとは、また同国と日本との関係
- サウジアラビアが直面する課題
- 「サウジ・ビジョン2030」と急速な変革
- 日本とのパートナーシップ「日サウジビジョン」
- サウジの環境問題への日本のソリューション
- 中東協力センターのご支援

# 湾岸諸国は“VISION”花盛り

## 脱石油・産業多角化に向けた政策転換

✓ 脱石油・産業多角化を目標に掲げ、イノベーションや中小企業育成等を中心とした経済政策へ

国	ビジョン	内容	エネルギー政策の目標	知識社会
UAE	UAE VISION 2021 Abu Dhabi 2030, Dubai Plan 2021, Dubai Industrial Strategy 2030	革新をテーマに再生可能エネルギー、輸送、教育、健康、テクノロジー、水、宇宙に焦点 2017年10月17日の内閣改造で、先端技術担当国務大臣及びAI担当国務大臣を新設。	クリーンエネルギーを24% (2021までに) (アブダビ) 26%を原発、7%を太陽光 (ドバイ) 7%を原発、15%を太陽光	デジタル経済・Eコマース エネルギーエフィエンスイ/クリーンテクノロジー/再生可能エネルギー 消費者保護
サウジアラビア	Vision 2030	アラムコIPO、軍事産業の現地化、再生可能エネルギーの目標設定、PIFの資産規模拡大、経済新特区の設定等	9.5GWを再生可能エネルギーとする	都市化/スマートシティ/インフラ (PPP/IPP)
カタール	National Vision 2030	持続可能な先進社会に向け、経済開発、社会開発、人材開発、環境開発	20%を再生可能エネルギー	健康 教育
オマーン	Vision 2020	経済金融の安定化、民間部門拡大、国際化、経済多様化を目指す	15%を再生可能エネルギー	水/食糧安全保障 ファイナンス(イスラム金融)・資本市場
バーレーン	Vision 2030	民間主導の経済実現		民営化・PPP

(各種政府発表資料)

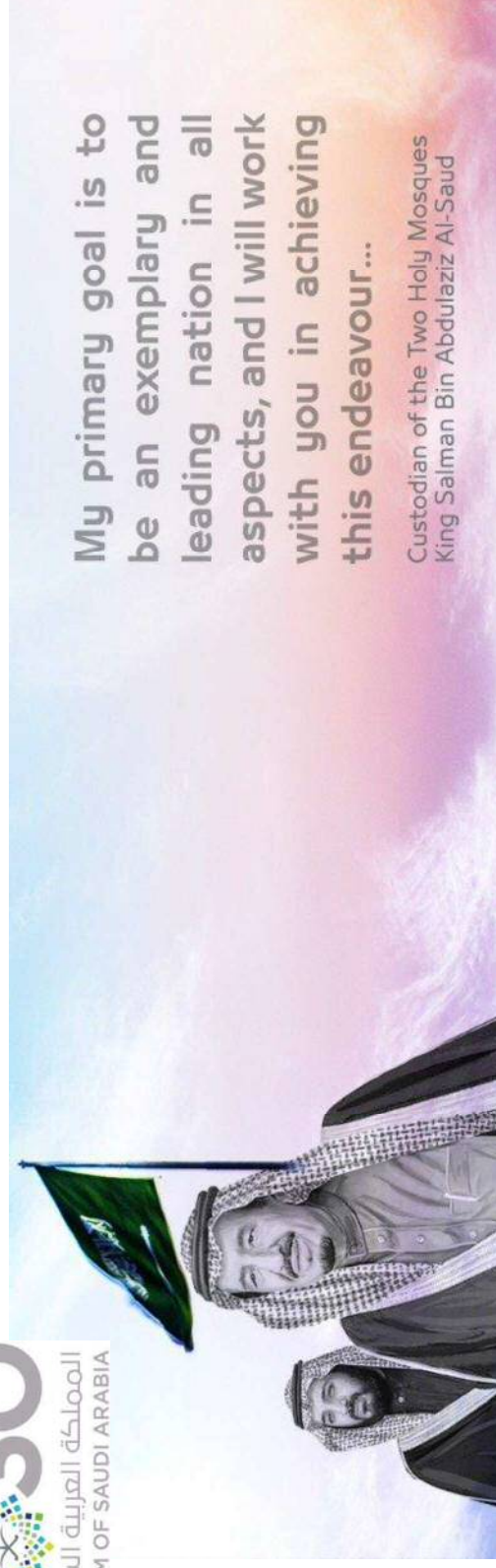
©JCCME禁複製

経済産業省作成

# サウジは今、MbSとVISION 2030

- 初の超長期計画「活気ある社会・盛況な経済・野心的な国家」の三本柱  
娯楽・健康など従来にない国民生活重視の要素も盛り込み、国民は歓迎
- 石油依存脱却・金融投資立国化  
国家資産（アラムコ、電力・水・空港など公共事業）の「現金化」、外資・民間資金誘致。  
公的投資ファンド（PIF）を国富ファンドとして大幅強化。軍需産業の国内化、民活
- エネルギー補助金半減を掲げ、初の電気・水・燃料値上げ。またVATも導入
- 日本筆頭に各国も共同表明（日・米・中・韓・露？＝「戦略パートナー国」）

رؤية  
VISION 2030  
المملكة العربية السعودية  
KINGDOM OF SAUDI ARABIA



VISION2030公式サイトより

©JCCME 禁複製

# Vision 2030要点(「三本柱」と目標設定、12のVision Realization Programs)

「三本柱」と大目標	中目標	具体目標(青字は「コミットメント」から抜粋)	実現のための12プログラム(12VRPs:17年4月24日CEDA発表)
1. 活気ある社会 (1)イスラミ的・国民的個性強化 (2)健康で充足的な生活の提供	(1) 確立された価値	①ウムラ(小巡礼)受入数を年間800万人→3,000万人 ②ユネスコ世界遺産登録数を2倍以上(2016年4件) 最大規模のイスラーム博物館・研究センター建設	【当初からの継続5プログラム】 ● <b>財政均衡プログラム(CEDA・財務相)</b> 政府効率化、国有資産・行政サービスの歳入極大化(国民への直接税は回避)等による早期財政均衡→18年にIMF勧告を受け「2023年までの均衡実現」に改訂 ● <b>国家変革プログラムNTP(CEDA・経済企画相)</b> ビジョン達成のため、各省庁の効率化・インフラ整備、官民含めた連携協業促進を、関連指針・KPIで数値目標化し評価。2020年には間に合わず、改定中 ● <b>公的投資基金PIF(CEDA議長・PIP会長と共にMBS皇太子)</b> PIFを皇太子直屬・世界最大(7兆リヤル=200兆円超)の国富ファンドに変革し経済多様化とビジョン実現のエンジンとする ● <b>戦略的パートナーシッププログラム(CEDA・エネルギー産業領袖物相)</b> ビジョンに沿って特定国(非開示、GCC・日米中韓・英独仏・露?)と戦略的に連携し外資誘致、産業(非石油・軍事・医療・情報・金融・観光等)と特区整備を促進 ● <b>民生化プログラム(CEDA・経済企画次官)</b> 国営/国有企業や公共事業(特に厚生・教育・地方行政)の国内外資本による民生化を進め、効率化・品質向上を図る
	(2) 生活の充足	①3都市を世界の住みやすい都市トップ100位内に ②国内文化・娯楽活動個人消費2.9%→6% 「DAERM」プログラムで文化・娯楽の質向上 ③週1回以上運動する人の割合13%→40%	
	(3) 強固な基盤	①社会関係資本係数(SCI)を26位→10位 ②平均寿命74歳→80歳 医療部門の企業化・サービス向上 ①失業率11.6%→7% ②中小企業GDP貢献割合20%→35% ③女性労働力割合22%→30%	
2. 盛況な経済 (1)経済の成長と多様化 (2)雇用創出	(1) 豊富な機会	①世界経済規模19位→15位 ②石油・ガス部門国内生産化率40%→75% 軍需産業の内製化2%→50% ③公的投資基金(PIF) 資産をSR6千億→SR7兆に ①国際競争力指数(GCI) 25位→10位 ビジネス環境の整備 経済都市・金融地区の再建、経済特区の設置	【新設定の7プログラム】 ● <b>国内産業開発・物流プログラム(CEDA・エネルギー産業領袖物相)</b> 再生エネルギー・軍事・鉱業・ロケットなどの国内製造を振興し、三大陸を結ぶ地の利を活かした理想的な物流・輸出インフラを整備する。若年層雇用創出にも寄与 ● <b>金融分野開発プログラム(CEDA・財務相)</b> サウジ資本市場に国内外のファンド・機関投資家等呼び込み、中東最大・世界トップ10に拡充 ● <b>国内企業振興プログラム(CEDA・商業投資相)</b> 100以上の国内・国際企業を振興し産業多様化・SME育成・雇用創出に貢献 ● <b>大小巡礼経験拡大プログラム(CEDA・経済企画相)</b> 聖地の巡礼受入キヤパ拡大、および巡礼後の国内観光・文化施設を整備拡充 ● <b>ライフスタイル改善プログラム(CEDA)</b> 国民・居住者の個々人が文化・環境・娯楽・スポーツ活動を通じ都市生活を改善できるエコシステムを開発 ● <b>住宅供給プログラム(CEDA・住宅相)</b> 国民が資金力に応じた上質の家族生活を送れる住宅を、最新の技術を活用して雇用創出・地場産業育成に寄与しつつ提供 ● <b>国民性賦活プログラム(担当相検討中)</b> イスラミ的・良き伝統的価値観に根差した、国内外に誇れる国民性を確立し教育
	(2) 長期目標の投資	①世界経済規模19位→15位 ②石油・ガス部門国内生産化率40%→75% 軍需産業の内製化2%→50% ③公的投資基金(PIF) 資産をSR6千億→SR7兆に ①国際競争力指数(GCI) 25位→10位 ビジネス環境の整備 経済都市・金融地区の再建、経済特区の設置	
	(3) オープンなビジネス	②対内直接投資(FDI) GDP割合3.8%→5.7% ③民間部門GDP貢献割合40%→65% ①物流効率指数(LPI) 49位→25位 ②非石油製品GDP輸出割合16%→50%	
3. 野心的な国家 (1)行政効率改善 (2)社会的責任の促進	(4) 地理的優位性の利用	①非石油政府収入SR1,630億→SR1兆に ②世界ガバナンス指標80位→20位 政府の透明性・柔軟性・サービス、職員スキルの向上 ③電子政府開発指数トップ5以内	
	(1) 効果的なガバナンス	①世帯収入貯蓄率6%→10% ②非営利部門GDP貢献割合1%未満→5% ③ボランティア動員100万人/年(現在1.1万人)	【廃止8プログラム】 サウジアラムコ戦略変革P、政府機構再編P、戦略的指針P、プロジェクト管理P、業績測定P、規制見直しP、人的資本P、公共部門ガバナンス強化P
	(2) 生活・ビジネス・社会への責任		
出所:	Vision 2030邦訳版 ( <a href="http://www.vision2030.gov.sa">www.vision2030.gov.sa</a> ) およびVision Realization Programs HPより(筆者仮訳)		

# ビジョン2030の本質 (取扱注意)

➤ 「今そこにある課題」を踏まえ、sustainableな国家経済の実現を本気で目指す

- ①「石油依存からの脱却」と同時に「石油資源の延命」
- ②国有資産の「現金化」と外資の呼び込み
  - ・アラムコのIPOによる莫大な資金調達
  - ・公共事業（電力・水・空港など）の民営化・アウトソース
  - ・公的投資基金（PIF）を国富ファンドとして強化
  - ・「ソフトバンク・ビジョンファンド」の盛り上げ
- ③経済効率化・社会安定化の観点からの女性活用・娯楽文化解禁

➤ 79年以前の「穏健なイスラム」社会への回帰

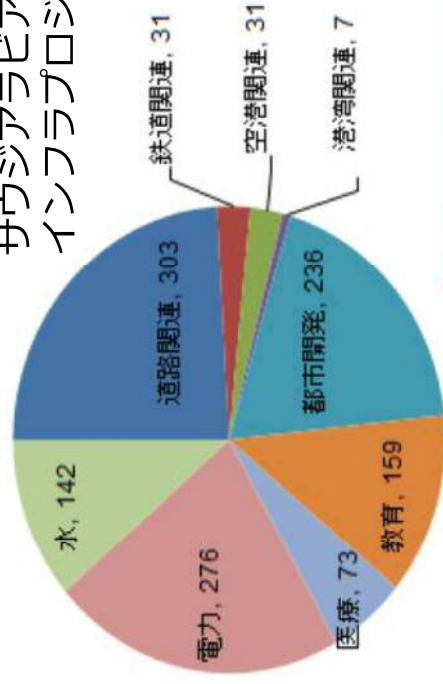
イスラム原理主義・共和制主義などからの王政批判を防遏・予防？  
(国民の思想統制的な一面もあり)

⇒ 実現のためのサルマン・MbS体制強化

- ・MbSが国防大臣、「経済開発評議会」「政治・安全保障評議会」の両議長、王宮府長官、第一副首相を兼務し権限集中。頻繁な省庁改編・閣僚人事
- ・13の「ビジョン実現プログラム（VRP）」策定――国家産業開発・物流、国家変革、民営化、財政均衡、公的投資基金、金融セクター開発、生活改善、戦略的パートナーシップなど

# 公共インフラプロジェクトが目白押し

サウジアラビアにおける2015年以降の  
インフラプロジェクト総数



図表はFrost&Sullivanによるサウジアラビアのインフラプロジェクト総数の分布

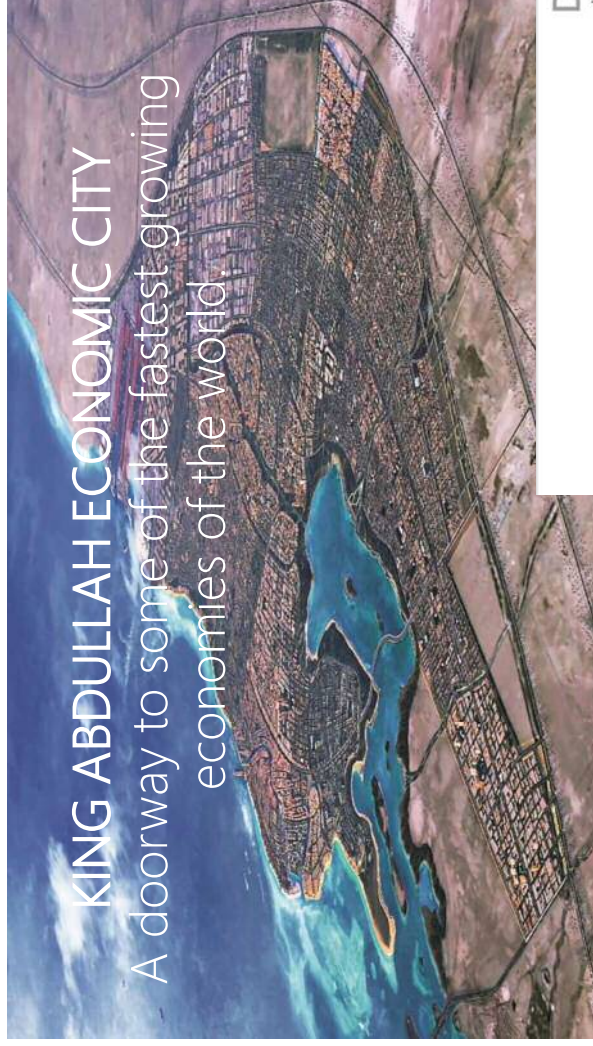
サウジアラビアにおける年度別・部門別  
インフラプロジェクト総数

部門別・年度別プロジェクトの状況

部門	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	合計 (2015 ~2020年)
道路	104	66	20	28	79	5	1	303
鉄道	2	3	0	1	10	15	0	31
空港	7	5	2	7	4	6	0	31
港湾	1	3	1	2	0	0	0	7
都市開発	46	74	31	21	38	25	1	236
教育	66	44	16	9	24	0	0	159
医療	15	14	10	14	15	5	0	73
電力	75	88	39	21	45	7	1	276
水	27	31	9	23	47	5	0	142



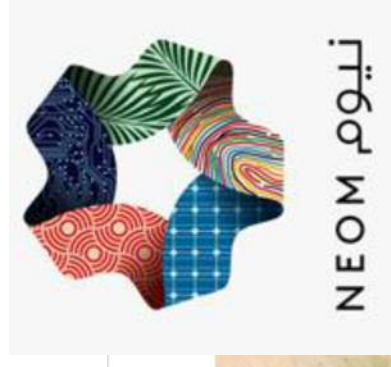
# 紅海側の巨大都市開発 KAECとNEOM



2006年にジエッダ北方100kmで始まったKAECの開発は、曲折を経て進行中。面積181km<sup>2</sup>「ワシントンDCに匹敵」・開発費SR2070億(6兆円超)、製造・港湾・物流・鉄道・リゾート・居住・教育・医療等の複合都市(特区)を目指す

## DEVELOPMENT

NEOM will start here. This interactive map will show all the latest developments as they happen. Literally, a new kind of tomorrow is being made. Please keep on staying up and witness the realization of our ambitious dreams.



17年10月の未来投資サミット席上で皇太子が孫氏と共に発表したNEOM。シナイ半島対岸の広大な砂漠25,600km<sup>2</sup>(四国の1.4倍)を50兆円で開発、再生エネ・IoT・ロボティクス等を駆使した自給型産業都市(特区)とする構想

# 急速に進む女性・社会文化の解放

- 17年10月 皇太子の「穏健なイスラムへの回帰」宣言
- 18年1月 女性のサッカー観戦解禁
- 2月 国内初のジャズ・フェスティバル
- 2月 元宗教学警察長官が聖バレンタインデー解禁発言
- 2月 皇太子のアバヤ着用「義務」に対する疑問発言
- 3月 女性のマラソン大会解禁
- 4月 リヤドに35年ぶりの映画館再開(19年6月に名探偵コナン上映)
- 6月 女性の自動車運転解禁
- 12月 リヤド近郊で自動車レース開催
- 19年1月 リヤドに初の女性タクシー(Uber)運転手登場
- 3月 KAEC(アブドラ国王経済都市)内ゴルフコースで初の欧州ゴルフツアー開催、前夜祭でマライア・キヤリーの歌謡ショー
- 5月 サウジ版グリーンカード(永住権)発行
- 6月 観光ビザの(条件付)解禁の観測記事
- 8月 サウジ女性の海外旅行自由化(国王勅令)

- 女性解放、娯楽・文化解禁の目的は「経済効率化と社会安定化」(例:女性の小売現場への進出で失業対策。また、17年だけで娯楽関連企業500社設立!)
- 半面、国民意識が変わらない部分も(酒・豚肉禁止(ハラーム)、礼拝・断食・巡礼等の宗教最優先、家族重視の価値観、男女の服装など)

# 急速に進む女性・社会文化の解放



Valentine is not 'haram', says ex-Saudi religious police boss ARAB NEWS— Thursday 15 February 2018



Saudi women don't need male permission to start businesses NADA HAMEED Arab News— Sunday 18 February 2018

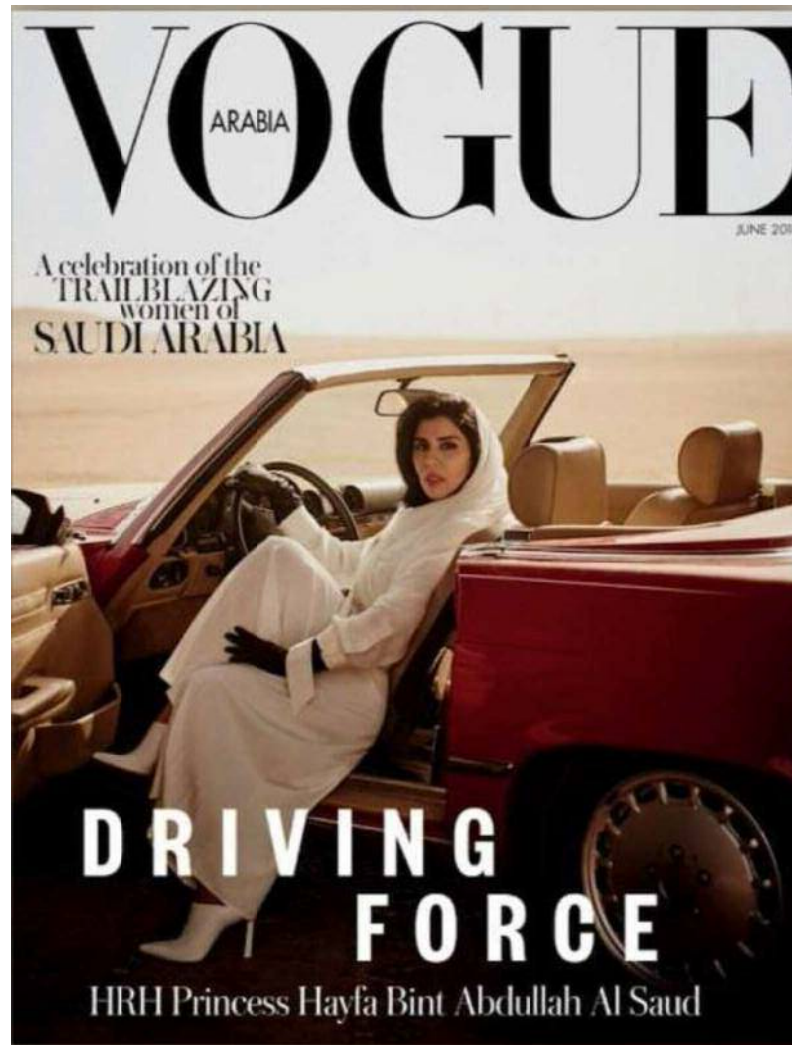


毎日新聞 2018年1月13日サッカー国内リーグの試合を観戦するサウジの女性たち=サウジアラビア西部ジッダで12日、ロイター



Jazz festival rocks Riyadh--General Entertainment Authority had encouraged the festival to showcase jazz culture over the next three days. (AN photo by Iqbal Hossain) MOHAMMED RASOOLDEEN | Published - Friday 23 February 2018

# 急速に進む女性・社会文化の解放



18年6月、女性の運転解禁 VOGUE (アラビア版) の表紙を華やかに飾ったのは、前国王の息女ハイファ王女



18年3月5日、東部州で初の女子マラソン大会。千数百名がアバーヤ姿で3キロ走行。Al Arabiya紙



23-year-old Shahad Hamad, a part-time Uber driver, hits the streets of Riyadh, navigating her way through the Saudi capital. (AN photo) Arab News Jan. 16 2019

# 急速に進む女性・社会文化の解放

文化・スポーツ・教育

経産省作成資料

多様なイベントがサウジ社会・生活をより豊かに



サウジ・コムコン  
多数の日本のポップカルチャー  
が展示



柔道大会  
日本国大使杯2017の開催



オーケストラ  
日本のフルオーケストラが  
クラシックコンサートを40年ぶりに実施



書道実演



<http://www.ksa.emb-japan.go.jp/highlight/index2017.htm#highlight249>

# 急速に進む女性・社会文化の解放

## エンターテインメント・メディア

経産省作成資料

ワンピース楽曲作曲家による  
香港・パリに続くオーケストラコンサートプラン



### 新たな機会の提案

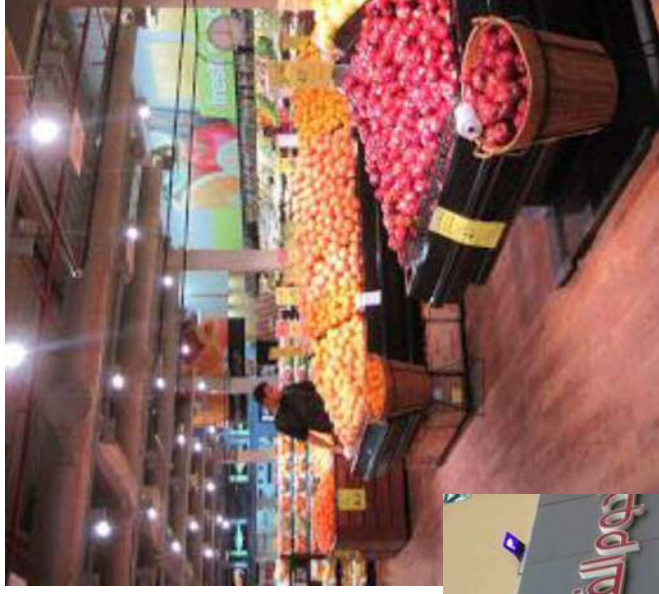


バンダイ・ナムコ  
バーチャルリアリティ  
テーマパーク



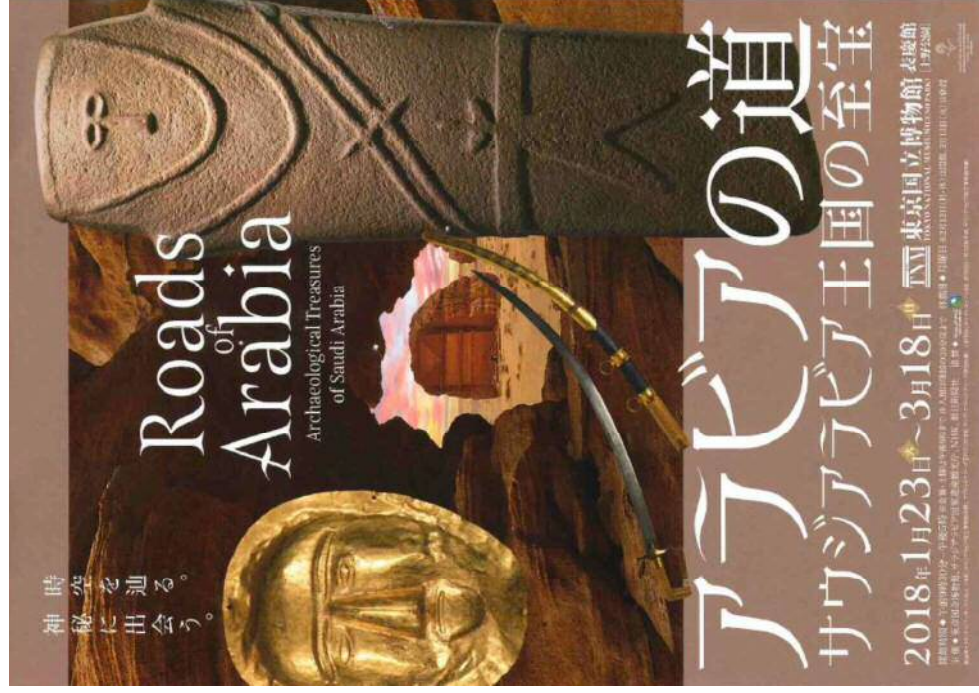
# 急速に進む女性・社会文化の解放

わずか1年ほどで、食品流通の最下流(スーパー・市場・小売・飲食店)では、当局の号令と現場指導により、鮮魚・精肉などの衛生状態が劇的に改善。また、売り場にサウジ女性店員が配置



# 国内観光振興も積極的に

サウジ国家遺産観光庁Saudi Commission for Tourism and National Heritage (SCTH)と公的投資基金PIFが観光業(交通・宿泊施設・観光ガイド)の整備振興に意欲的



Saudi tourist visas will be

available soon ARAB NEWS Apr.11, 2018



従来は「ビジネス」と「巡礼」のみ。限定的に承認団体向け観光ビザを発行し海外旅行客誘致の動き。

「アラビアの道」展 上野国立博物館でSCTH主催(アラムコ協賛)  
従来はイスラム布教以前を「無明時代(ジャーヒーリーヤ)」として、正面から採り上げることはなかった  
⇒今回、香料など交易で栄えた古代のアラビア半島の遺跡遺物文化を、各国で巡回展示。好評につき5/13まで会期延長



# 本日のアジェンダ

- サウジアラビアとは、また同国と日本との関係
- サウジアラビアが直面する課題
- 「サウジ・ビジョン2030」と急速な変革
- 日本とのパートナーシップ「日サウジビジョン」
- サウジの環境問題への日本のソリューション
- 中東協力センターのご支援